

令和4年度  
事業計画書

公益財団法人 帆船日本丸記念財団

## 目 次

この目次は右上ページ数字  
を参照してください。

1	事業運営の方針	3
2	帆船日本丸事業	4
3	横浜みなと博物館事業	6
4	みなとの賑わい創出事業	9
5	緑地管理及び研修施設事業	10
6	集客増に向けた主な重点取組	11
7	組織運営の質的向上に向けた取組	14
8	事業一覧表	15
9	管理執行体制	21
10	指定管理業務計画	23
11	指定管理業務に係る当該年度の収支計画表	26
12	年間の指定管理業務の範囲外の収支計画表	26

## 令和4年度 事業計画

令和4年度は、日本丸メモリアルパークの第4期指定管理の開始年度で、今年度から13年度までの10年間、単独指名での管理運営となります。第4期指定管理者の応募の際に提出した事業計画書に基づき、年次毎の事業計画を作成し、実施してまいります。

初年度は、昨年度から改修工事が行われた横浜みなと博物館のリニューアルオープンを迎え、新たなスタートを切るとともに、8年後の令和12年1月には、帆船日本丸が進水100年を迎えることとなります。

改めて、このような時期に当施設の管理運営を担うことを誇りに思うとともに、当財団は、30年に亘り運営してきたノウハウ及び実績並びに信頼をもとに、安全に安心して利用できる施設管理を行ってまいります。また、常に施設の新たな魅力向上や集客向上に向けた施策を横浜市と協議しながら、積極的に推進します。

次に主な事業としましては、帆船日本丸は、長期にわたる船員教育や我が国の海運業の発展に貢献したこと及び日本国内に現存する希少な「リベット構造」を持ち、国内開発された船用大型ディーゼルエンジンを搭載するなど貴重な海事遺産であることが評価され、平成29年9月15日には国の重要文化財に指定されました。令和2年10月21日には、市民と共に育む海事思想の普及に貢献したことから、第13回海洋立国推進功労者内閣総理大臣表彰を受賞しました。引き続き、横浜市と協力して文化財の価値を保全しつつ、総帆展帆や海洋教室など帆船日本丸を活用した事業を積極的に推進します。

また、帆船日本丸は船齢92年を迎え、船体の劣化が進んでいます。このため、来る「100年の航海」に向けて、今年度は木製ヤードの交換工事を含め、船内の士官エントランス入口付近のハウス側壁修繕工事等を行います。さらに、平成31年3月に作成された重要文化財「帆船日本丸保存活用計画」（以下「保存活用計画」という。）に基づき、横浜市と協力し、保存・活用してまいります。

横浜みなと博物館では、昨年度、約10年ぶりに、常設展示の魅力アップを図るため、横浜市によるリニューアル工事が実施されるとともに、柳原良平アートミュージアムでは、3年ぶりに大規模な展示替えを実施します。

今年度は、まずは新しくなった展示や施設を多くのお客様に安全に楽しく利用していただけるよう取組むとともに、リニューアルオープン記念企画展として「ベストセレクション 世界の客船ポスター」を実施します。

このほか、新しくなった展示に注目していただく博物館クイズラリーなど市民が横浜港をはじめ、海・船・港に親しむ多彩な機会を提供するとともに、SNS等を活用し

た広報活動を行い、新しいファンの獲得を目指します。

また、近年課題となっている収蔵資料の水害等自然災害への対策を促進します。

日本丸メモリアルパークでは、アリーナでのイベントをはじめ、横浜市等と連携したイベントなどを開催するとともに誘致を進めます。また、新しく開設する多目的ルームなどでの国際会議のユニークメニューやレセプションの誘致に努めます。

以上、みなとみらい21地区において、帆船日本丸等の各施設がその魅力を存分に発揮し、地域の賑わい創出と横浜観光の振興に貢献するとともに、市民の憩いの場として親しめるよう快適な環境を提供してまいります。

また、国指定重要文化財の旧横浜船渠第1号ドックと帆船日本丸を活かした歴史遺産の大切さを体感する場とするとともに、博物館と合わせて海と港と船に親しむ豊かな体験を提供する満足度の高い教育普及施設を目指します。

なお、一昨年からまん延している新型コロナウイルス感染症は、まだまだ先を見通せない状況です。今年度に予定されている本事業計画が変更になる場合も想定されますが、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底し、多くの皆様に安心して御来館いただけるよう取り組んでまいります。

## 1 事業運営の方針

### (1) 年次計画の目標

目標は、日本丸メモリアルパークの利用者数 75 万人、帆船日本丸及び横浜みなと博物館有料入場者数 12.4 万人、総帆展帆実施回数 13 回、教育普及各種講座の実施回数 200 回以上とします。また、お客様満足度は、97%以上を目指します。

### (2) 利用者の拡大と一層のサービスの向上

お客様に気持ち良く利用していただくために、おもてなしの心で常に改善を行い、サービスの向上に取り組めます。利用者ニーズを的確に把握した取組を展開するとともに、来場者の増加が期待される、外国からのお客様に対応したサービスを提供します。

施設運営での大きな特徴である「私たちの大切なパートナー」の市民ボランティアとの協力体制を引き続き充実させます。

また、スマートフォンやパソコンの普及に応え、Webサイトだけでなく、SNSを駆使してタイムリーでビジュアルな発信を行います。



### (3) 安全・安心して利用できる施設管理

常時パーク内を巡回し、子供や高齢者、障がい者にも安心して利用していただけるよう施設管理を行います。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策は、引き続き職員の健康確認や施設の除菌清掃、お客様及び職員の手指消毒などの徹底を図りながら運営していきます。

地震や津波、風水害等の発生時には、お客様の安全を第一にした避難誘導を行うなど必要な措置を迅速に講じるとともに、所蔵品の持ち出しルールを定め、職員が協力して貴重な資料の保全に努めます。また、消防計画や地震対策マニュアルなどを定期的に見直し、消防署等の指導による訓練を毎年実施します。

### (4) 柔軟な利用料金体系の設定

引き続き、帆船日本丸・横浜みなと博物館のどちらか1つの施設を見学できる単館券の発行に加え、1日楽しんでいただける割安な料金の共通券を設定します。

小学生から高校生まで同じ料金帯の設定とするとともに、毎週土曜日を100円の特別料金で実施します。

65歳以上の方の入館料は、シニア割引を設定するとともに、団体割引やWebサイトからの電子チケット割引など多様なニーズに応える料金設定とします。

## 2 帆船日本丸事業

帆船日本丸の帆走艀装については、平成30年度から2か年に亘って横浜市が実施した大規模修繕工事で、全部で9本ある木製ヤードの内、フォア及びミズンマストのロイヤルヤードを交換しました。さらに、令和2年度には、特に腐食が激しく見られたフォア及びメインマストのローワゲルンヤードを交換しました。

この交換した旧ローワゲルンヤードは、戦後の帆走艀装復旧時に取り付けられた歴史的価値の高いものであることから、横浜市及び文化庁と協議し、腐食部を除いた利用可能部分をメインマストのロイヤルヤード本体等に再利用し、令和3年度の長期船体整備期間中に交換しました。

しかし、各マストの木製アッパーゲルンヤードなどは、戦後の帆走艀装復旧から現在まで更新されていません。今後も、帆船日本丸がこれまでどおり総帆展帆などの事業を実施し続けるためには、要修繕・整備箇所がまだまだ多く見られます。

そこで、帆船の船員経験のある職員が日々の船体整備に努めるとともに、今年度も引き続き保存活用計画に基づき、保存において行うべき工事や修繕の方法について検討し、実施していきます。

また、帆船日本丸は、海洋教室等を通じて、海・船・港に関する知識を学ぶための教育施設でもあることから、子供から大人までが楽しめる参加・体験型教育プログラムを実施し、帆船日本丸の保存について、より深い理解をしていただけるよう努めます。

加えて、帆船日本丸をより多くの方に御覧いただくため、定期的な船内展示の更新、各種講座等を実施し、乗船者増に努めます。さらに、帆船日本丸を観光資源として活用する方策について検討を進めていきます。

## (1) 保存事業

帆船日本丸を良好な状態で保存するために次の整備を行います。

### ア 日常保守点検

公開区域を始めとした船内の安全点検、清掃、真鍮磨きなど、美観保持等の整備に努めます。保存活用計画に基づいて、船体鋼材の発錆部整備、木甲板や船体木部の整備及びマスト、ヤード、その他の帆走艀装の点検・整備並びにセイルの新規作成を行います。

### イ 年次船体整備等

船舶検査受検工事に加え、木製ヤード交換工事、士官エントランス入口付近のハウス側壁修繕工事や、船体構造部材、帆走艀装品及び木甲板等の船体木部に関する要修繕箇所を抽出し、小破修繕工事を行います。さらに、帆走艀装整備として交換済み木製ヤードの部分塗装及びステイ等のター塗りを順次実施します。



ステイ（マスト間ワイヤ支索）塗装

### ウ 災害防止

新たに国土交通省に承認された「帆船日本丸災害防止計画」に基づき、火災や地震等の災害対策及び不法侵入者の防止に備えた24時間体制の監視を、船内防災センターにおいて行います。

## (2) 公開事業

業務仕様書に基づき、船内を年間250日以上一般公開します。また、船内展示室の展示内容を更新します。ロープ作成教室や各種講座を実施し、帆船日本丸のさらなる魅力アップに努めるとともに、リピーター及び新たな乗船者の増加を図ります。

展帆ボランティアにご協力いただき、総帆展帆を年13回実施します。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、適宜、帆の一部を広げる展帆を実施します。また、現役時代の帆船日本丸への乗船経験や海上勤務経験があるガイドボランティアと連携し、状況に応じて団体客等を対象とした無料の船内ガイドサービスを実施し、お客様の満足度向上に努めます。

これらを始め、祝日の満船飾や、毎夜ライトアップとイルミネーションの点灯を実施することにより、この地区を訪れる方々に、帆船日本丸の美しい姿を御覧いただき、みなとみらい21地区の賑わい創出に努めます。



### (3) 青少年錬成事業等

帆船日本丸及び付属施設を活用して、青少年錬成のための「海洋教室」や「家族で体験できる海洋教室」、体験型の「船の講座」、夏季の「ロープ作成ミニ海洋教室」などを開催し、海事思想の普及に努めます。また、35年以上に渡り実施してきた「横浜こどもマリンスクール」の事業を支援します。



横浜こどもマリンスクール

### (4) その他

帆船日本丸の重要文化財指定に伴い、保存活用計画の運用を確実に実施するとともに、その検証を行います。また、<sup>つげたり</sup>附等の関連資料整理・保管方法について、横浜市と協議します。そして、帆船日本丸を観光資源として活用する方策について検討します。

## 3 横浜みなと博物館事業

横浜みなと博物館は、昨年度に横浜市によりリニューアル作業が実施されました。今年度は、新しくなった展示や施設を多くのお客様に安全に楽しく利用していただけるよう努めてまいります。

「柳原良平アートミュージアム」は3年ぶりに大規模な展示替えを実施しました。新たな作品を展示し、柳原良平の多彩な作品の数々をご紹介します。

リニューアルオープン記念企画展として厳選した所蔵品を中心に展示する「ベストセレクション 世界の客船ポスター」を開催します。また、好評の柳原良平アートミュージアム特集展示は1回あたりの展示作品数を増やして開催いたします。

このほか、新しくなった展示に注目していただく博物館クイズラリーや、学芸員のワンポイント展示解説など市民が横浜港をはじめ、海・船・港に親しむ多彩な機会を提供します。

各事業についてSNS等を活用した広報活動を行い、当館の魅力を発信し、これまで以上に市民に親しまれ、活用される博物館づくりと新しいファンの獲得を目指します。

多くの市民ボランティアとともに、展示や教育普及、アウトリーチ活動を通して、多くの方が海や港、船に親しみ、興味をもつことができるように、体験的な教育プログラムを実施し、お客様サービスの向上に努めます。

また、昨今発生している水害に対応するため、当館の収蔵資料の水害等自然災害の対応を促進します。

### (1) 常設展示事業

新しい展示についてより多くのお客様に理解を深めていただけるよう、新しい展示

を組み込んだクイズラリーを実施します。また、市民の展示案内ボランティアによる新しい展示の案内、説明を実施し、お客様に新しい展示に注目していただくとともに、入館者の満足度向上とリピーターの確保に努めます。

併せて、新しく設置されたVRやガントリークレーンシミュレーター、また操船シミュレーターなどの体験型展示機器について、いつでも良好な状態でお客様に利用していただけるよう、これまで以上に円滑、かつ安全な運営に努めてまいります。



VR（バーチャルリアリティ）シアター

柳原良平アートミュージアムは、開設以来初となる大規模な展示替えを行いおよそ 150 点の作品を展示しました。特集展示では、横浜港の広報誌「よこはま港」表紙用の切絵を中心として横浜港の風景を描いた作品や、秋に開催する企画展「世界の客船ポスター」と連動して船旅を描いた作品の数々を展示します。



「本牧埠頭コンテナバース」

1993(平成5)年 切絵

特集展示「柳原良平の描く横浜の港の風景」(仮称)



「さくら丸のデッキゲーム」

1972(昭和47)年 切絵

特集展示「柳原良平と船の旅」(仮称)

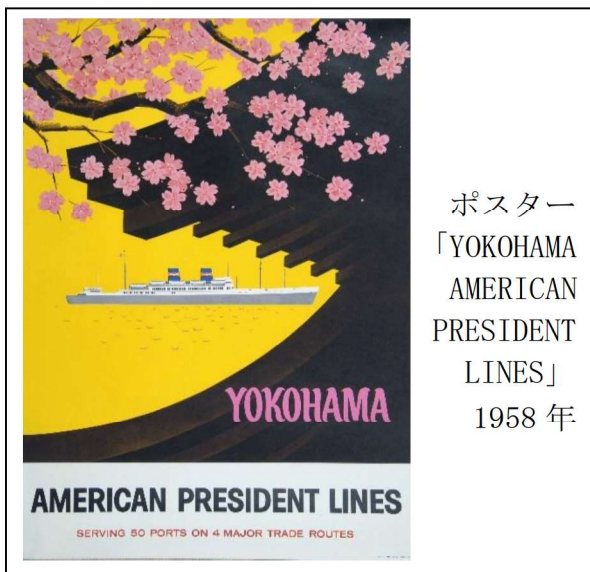
柳原良平アートミュージアム特集展示名	会 期
柳原良平の描く横浜の港の風景(仮称)	博物館リニューアルオープン日～10月2日
柳原良平と船の旅(仮称)	令和4年10月4日～令和5年3月26日

## (2) 特別展示事業

秋に「横浜みなと博物館リニューアルオープン記念展 ベストセレクション 世界の客船ポスター」を開催します。当館所蔵資料を中心に、欧米と日本の海運会社が発行した1890年代から1960年代までの客船ポスターをおよそ80点展示します。所蔵する日米欧の客船ポスターを一堂に展示する展覧会は今回が初となります。定期航路客船が、20世紀半ばまで国際旅客輸送の主役であったこと、当時から横浜港にもさまざま



まな国の客船が入港していたことなどを紹介します。併せて、当館がこうした海事資料の収集・保存・展示・調査研究に取り組んでいることを市民に周知し、博物館活動への理解を深める機会とします。



ポスター  
「YOKOHAMA  
AMERICAN  
PRESIDENT  
LINES」  
1958年



ポスター  
「Red Star Line Anvers = New York」  
1920年代

企画展名	会期
横浜みなと博物館リニューアルオープン記念展 ベストセレクション 世界の客船ポスター	令和4年10月8日～12月4日

### (3) 教育普及事業

入館者向けに、週末の土・日曜日及び祝日には、教育活動ボランティアの協力により船の折り紙教室やペーパークラフト教室などのワークショップを実施します。またリニューアルオープンを記念して、観光案内所等と連携して「港と船のスタンプラリー」（仮称）を実施します。

新たに、開港から横浜港の輸出品の主力となってきた生糸やスカーフに親しむ「ゲストーク・シルクスペシャル」（仮称）を横浜繊維振興会及び横浜市政策局共創推進課と協働して実施します。横浜港の貿易や、横浜港から発展した横浜の地場産業について理解を深めます。

特別展示室を活用して、16mm映画フィルムを放映する「海と船と港の記録映画上映会」（仮称）を実施します。昭和の横浜港の姿や港湾荷役作業、また帆船日本丸の航海記録映画など、所蔵するフィルムを中心に放映し、横浜港や帆船日本丸について一層の理解を深めます。

企画展では、船舶イラストレーターを講師にワークショップ「船のポスターを描こう」を実施します。参加者が客船の模型をモデルに実際に船のポスターを作成し、完成した作品は会期中会場に展示します。また、展示の内容についてより理解を深める展示解説を、会期中複数回実施します。

自宅にしながら、横浜港や帆船日本丸などの船に親しむことができるよう、「Webで日本丸ぬり絵（仮称）」等新たなWebサイトでのコンテンツの公開を進めます。

#### (4) その他

昨年度に横浜市が津波や高潮の浸水被害のない場所に新しい収蔵庫を設置し、館内収蔵庫に保管していた帆船日本丸重要文化財附資料や柳原良平作品など、一部の資料を移動しました。

今年度は同収蔵庫内資料について、横浜市と協議しながら、適正な環境の維持管理に協力します。加えて、当館内収蔵庫・書庫については、一昨年から継続して実施している水害等自然災害への対応促進とともに環境整備に努めてまいります。

### 4 みなとの賑わい創出事業

#### (1) キャッシュレス化の導入

帆船日本丸及び横浜みなと博物館を訪れるインバウンド旅行者の利用を視野に入れ、各券売窓口でクレジットカードや電子マネーが利用可能なレジシステムによる入館料のキャッシュレス化を図ることで利用者の利便性を高め集客に繋がります。

#### (2) 水辺の事業

##### ア シーカヤック体験教室

都心部では希少な水辺を体感できる体験型アウトドアスポーツの魅力をWebサイトやSNSで引き続き発信し、ファンの開拓を図ります。

今年度は、初心者向けの「半日スクール&赤レンガミニツアー」を86回、御好評をいただいている「親子体験教室」を16回開催するとともに、参加者の上達が自身で実感できるよう、教室のメニューを工夫し、リピーター参加者を増やします。また、市内の大学との連携教室等を開催します。



シーカヤック体験教室

##### イ カヌーポロ教室



カヌーポロ教室

NPO法人横浜カヌー倶楽部・横浜市カヌー協会と連携し、4月から10月までカヌーポロ教室を子供向けと大人向けに分けて計14回開催し、青少年育成とマリンスポーツの普及に協力していきます。

##### ウ 帆船日本丸のライトアップとイルミネーション等

帆船日本丸では、毎夜ライトアップとイルミネーションの点灯を実施することにより、みなとみらい21地区の賑わい創出に努めます。また、警察署や消防署が



警察署による水難訓練



定期的に実施しているパーク内水域での水難訓練にも協力していきます。

### (3) パーク利用事業（イベント）

昨年度に引き続き、ワークショップやコンサートなど多彩なイベントへの貸出を積極的に進めます。大型イベントでは主催者が使いやすいように、アリーナ、訓練センター、タワー棟の他に、新たに開設する多目的ルームの一体的貸出を進め、一層の集客及び収入増を目指します。



アリーナでのイベント風景

加えて、今年度から新たにキッチンカーなどの営業車単独での利用促進や、アリーナ、多目的ルーム及び特別展示室などを活用した国際会議のユニークベニューやレセプションの誘致に努めます。

また、引き続き横浜市のプロモーション事業やみなとみらい 21 地区のイベントとの連携を図ります。

### (4) ミュージアム・ショップ事業

帆船日本丸、横浜みなと博物館、柳原良平アートミュージアム及び横浜にちなむ商品を取り揃え、来場者の思い出や学びをより深めるグッズの販売を目指して、引き続き、横浜みなと博物館内にショップを運営します。また、当施設へ来られないお客様にも、商品をお買い求めいただけるようにオンラインショップを運営します。



ミュージアムショップ



## 5 緑地管理及び研修施設事業

### (1) 緑地の維持管理・活用

#### ア 安全管理・美化

市民をはじめ来街者が安心して利用できる緑地として、毎日パーク内の巡回、警備及び施設の点検を実施します。また、樹木の剪定、芝生の刈込等を適宜行うとともに、パーク内の水域では浮遊物の除去を毎日実施します。

一方、プランターやボックス花壇には、年間を通して季節の花を絶やすことなく植替えを行うとともに、昨年度に引き続き芝生広場などを活用し、グリーンボランティアと協働で花壇造りを行います。



ボランティアと花壇造り

## イ 撮影

テレビドラマやCM等の撮影については、利用者のニーズを的確に汲み取り、きめ細かく対応することで、リピーター及び新規の利用促進を図ります。

また、美しい内水域の夜景写真などを使い、WebサイトやSNSにより情報発信を行い、撮影候補地としてのPRを積極的に進めます。



テレビドラマ撮影風景

## (2) 研修施設（訓練センター）等の管理運営

駅からのアクセスも良く、リーズナブルで使いやすいという利点を活かし、利用促進に向けた業務展開を行います。また、利用の6か月前から行える予約サービスやWebサイトからの予約受付を継続し、利用者へのサービス向上と事務の効率化を図ります。加えて、日頃からお客様のニーズを把握し、プロジェクターなどの設備機器の更新を計画的に実施し、より快適な利用環境を提供することで、リピーターや新規顧客を増やし、利用者及び収入増に繋がります。また、今年度から新たに開設する多目的ルーム及び特別展示室を多用途スペースとして貸し出すことで、一層の収入増に繋がっていきます。

## 6 集客増に向けた主な重点取組

### (1) マーケット別取組の強化

リニューアルプロモーションを加えたマーケット別取組強化を実施し、それぞれのマーケットからの需要創出・集客増を目指すとともに、日本丸メモリアルパークブランドの普及に努めます。

そのために、プログラム・コンテンツのブラッシュアップ・新規開発を行うとともに、利用者にとっても有益かつ有用な実効性のあるプロモーション施策を実施します。

また、当施設単体だけでなく、近隣諸施設及び諸機関との連携や、旅行会社を始めとした各販売チャンネルとの連携を強化し、回遊性向上による誘致施策の協業を図ります。

併せて、マーケット特性に応じた最適な情報発信の選択と集中やタイムリーな展開を図ります。

### ア 法人マーケット（教育旅行及び企業・団体等法人）への取組—団体需要創出

団体利用の主たるマーケットである教育旅行及び企業・団体等法人のお客様ニーズを的確にとらえ、深耕拡大に向けた取組の継続強化及び新規取組を実施し、各マーケットからの需要創出を図り、集客増・売上増につなげていきます。



#### (ア) 教育旅行マーケット

公益財団法人日本修学旅行協会（以下：日修協）及び公益財団法人横浜観光コンベンションビューロー（以下：YCBV）等の関係機関並びに旅行会社の教育旅行部門との連携を強化し、お客様ニーズを含めたマーケット情報の収集、ワークシートのブラッシュアップ、学習プログラム開発に向けた協業を図ります。



学生団体による見学

また、旅行会社等へ団体利用誘致に向けた最適な情報発信、営業連携、プロモーションの充実等各種取組を推進します。

#### (イ) 企業・団体等法人マーケット

各企業・団体等の研修を始めとしたそれぞれの法人活動に有益な有用性のあるプログラム・コンテンツの開発を行い、旅行会社等との連携による商品化及び営業展開を推進します。

また、リニューアルプロモーションを実施し、施設利用の需要創出に向けた深耕拡大・新規開拓のための営業展開を推進します。

併せて、収入拡大のため、各事業において企業・団体等法人との協業による持続可能な新たな事業の構築を検討します。

#### イ MICEマーケットへの取組

リニューアルを機にパークを利用したアフターコンベンション・ユニークベニュー向けメニューの体系化を図り、パシフィコ横浜との連携はもとより会議主催者及び旅行会社を含むMICEエージェント等への営業展開を推進します。

#### ウ 個人マーケットへの取組－個人・グループ需要創出

利用者及び集客増のベースとなる個人需要拡大に向けて、お客様ニーズを的確にとらえ、各マーケット並びにシーズンごとに最適な情報発信方法の選択と集中による効率的なプロモーションを実施し、既存販売チャンネルの深耕拡大を図ります。

また、新たな個人・グループの需要創出のため、新規マーケットへの取組・新規販売チャンネルの開拓を図り、集客増及び売上増につなげていきます。

併せてリニューアルプロモーションを実施するとともに、リピート利用促進及び新規来館者の誘客策を実施し、総需要拡大を図ります。

## エ 外国人客（訪日・在日外国人客）マーケットー個人・グループ需要創出



「QR Translator カード」による多言語対応

新型コロナウイルス感染症の影響により今年度は、外国人客の復活を想定した受入準備の年と位置付け、施設等の案内表示及び情報ツールの多言語化対応の充実並びにリニューアル情報の発信を実施します。

また、新型コロナウイルス感染症の収束状況推移を見ながら、販売チャンネル特性、国・地域特性に応じたタイムリーなプロモーション施策の実施を今年度下期を目途に検討をしてみたいです。

併せて、近隣諸施設・諸機関との連携を強化し、インバウンド旅行会社等の情報収集及び営業展開を図ります。

### (2) 広報・宣伝への取組ープロモーションを主体とした取組

リニューアルオープン周知のためリニューアルプロモーションを上期重点課題として実施します。

広報・宣伝・プロモーション全体の年間の取組みとしては、従来の広報宣伝やプロモーション手法にとらわれず、マーケット変化に適応した取組を実施し、お客様の有益性・有用性を追求した情報発信を目指すとともに、更なる情報発信の効率化・スピード化・グローバル化への取組強化を図ります。

### (3) 地域連携による賑わいの創出

リニューアルオープンをフックとして、地域連携による集客や周遊施策を加えた企画及び実施をします。そのために、近隣ホテル・施設、大学、企業、交通系各社となお一層連携を強化し、回遊性向上のための協業を図り、具体的施策の実現を目指します。

### (4) Webサイトの活用

多様なマーケットニーズを的確にとらえ、リニューアルの情報発信も含めたWebサイトの活用及びサイト連動のSNSの活用の更なる推進を、最重点課題と位置付けます。

また、IT環境の変化に対応し、紙媒体に代わる情報提供やプロモーションツールとしてなお一層の活用促進を図り、お客様への有益性・有用性・利便性を追求した情報提供及びプロモーションを目指します。

この推進により情報発信の充実化・効率化・スピード化・グローバル化の強化を目指し、更なる認知度向上と利用者増を図ります。

## 7 組織運営の質的向上に向けた取組

スタッフ一人ひとりが誇りと自覚をもち、業務への使命感のもとに、”おもてなしの心”をもってお客様に接することが続けられるよう、次の取組を進めます。

### (1) 風通しの良い職場づくり

管理職会議、職員ミーティング及び安全衛生委員会など日常業務での議論を通し、職場でよく話し合う風通しの良い職場運営を行います。

### (2) 研修の実施

「コンプライアンス」や「個人情報保護」、「防災・緊急時対応」、「接客対応」、「スキル研修」等の研修を実施するとともに、横浜市が主催する人権研修等にも積極的に参加し、職員の意識や能力の向上を図ります。

### (3) コンプライアンスの順守

研修や朝礼等によりコンプライアンス意識の向上を図ります。また、市職員を含めたコンプライアンス委員会の開催等により、コンプライアンスの順守を徹底します。

### (4) 人事考課の実施

上司との面談を通じ、職員一人ひとりと目標を確認し、行動計画を定めて実施する業務実績（MBO）と業務への取組姿勢等に関する勤務実績による評価を実施し、給料への反映や表彰制度などで職員のモチベーションアップ及びレベルアップを図ります。



## 8 事業一覧表

(1) 帆船日本丸事業	
帆船日本丸公開  展示案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次の日を除く毎日公開 月曜日（祝日にあたる時は公開、翌日が休館日） 年末年始（12月29日～1月3日） 年次検査工事期間（1月28日～2月27日）</li> <li>・ ガイドボランティアによる船内ガイド（主に団体向け）実施</li> </ul>
総帆展帆 （実施予定回数 13回） *新型コロナウイルス感染症の状況によっては帆の一部展帆を実施	4月17日（日）・29日（金・祝）、5月15日（日）・29日（日）、6月11日（土）、7月3日（日）・17日（日）、8月28日（日）、9月11日（日）、24日（土）、10月9日（日）、23日（日）、11月3日（木・祝） *展帆ボランティアの協力により実施
親子展帆 （実施予定回数 3回）	5月5日（木・祝）、9月24日（土）、10月9日（日） *親子での展帆体験を実施
満船飾 （実施予定日数 16日）	4月29日（金・祝）、5月3日（火・祝）・4日（水・祝）・5日（木・祝）、6月2日（木・開港記念日）、7月18日（月・祝）、8月11日（木・祝）、9月15日（木・重要文化財指定記念日）・19日（月・祝）・23日（金・祝）、10月10日（月・祝）、11月3日（木・祝）・23日（水・祝）、1月9日（月・祝）・27日（金・進水記念日）、3月21日（火・祝）
海洋教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 半日・1日コース（募集予定人数 405人）</li> <li>・ 宿泊コース（募集予定人数 460人）</li> <li>*結索訓練、甲板磨き、登しょう訓練等を実施</li> </ul>
教育普及事業	<b>【大人向け船の講座】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11月13日（日）「トールシップの帆走艀装④」 ロイヤルヤード（木製）の更新作業について解説</li> <li>・ 1月22日（日）「帆船日本丸の主機（エンジン）の迫力を感じよう」 帆船日本丸の主機について解説、操縦装置にも触れる体験を実施</li> </ul> <b>【子供向け船の講座】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月7日（日）「船はどのように進むのだろうか？」 船が進む原理を分かりやすく解説、工作によりミニボートを走らせます</li> </ul> <b>【ロープミニ海洋教室】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 7月24日（日）・29日（金）・30日（土）・31日（日） 船でロープを作成して、ロープワークを学ぶ</li> </ul> <b>【夏休み親子宿泊海洋教室】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月13日（土）・14日（日）、8月20日（土）・21日（日）</li> </ul>



(2) 横浜みなと博物館事業	
常設展示事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次の日を除く毎日公開</li> <li>月曜日（祝日にあたる時は公開、翌日が休館日）</li> <li>年末年始（12月29日～1月3日）</li> <li>収蔵庫・書庫燻蒸及び館内整備期間（2月14日～2月17日）</li> </ul>
展示案内	展示案内ボランティアによる常設展示の説明
特別展示事業	<p><b>【企画展】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「横浜みなと博物館リニューアルオープン記念展 ベストセレクション世界の客船ポスター」</li> <li>会期：10月8日（土）～12月4日（日）</li> </ul> <p><b>【柳原良平アートミュージアム特集展示】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「柳原良平の描く横浜の港の風景」（仮称）</li> <li>会期：博物館リニューアルオープン日～10月2日（日）</li> <li>・ 「柳原良平と船の旅」（仮称）</li> <li>会期：10月4日（火）～令和5年3月26日（日）</li> </ul> <p><b>【新着資料展示】</b> 新しく収蔵した資料を公開します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①会期：博物館リニューアルオープン日～10月2日（日）</li> <li>②会期：10月4日（火）～令和5年3月26日（日）</li> </ul>
教育普及事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育活動ボランティアの協力を得ながら次の事業を実施</li> <li>・ 博物館クイズラリー（ファミリー向け／年間）</li> <li>・ 楽しい船の折り紙教室（こども向け／年間）</li> <li>・ サンデー・ペーパークラフト教室（ファミリー向け／年間）</li> <li>・ ホリデーペーパークラフト教室（ファミリー向け／年間）</li> <li>・ ホリデー船の折り紙教室（ファミリー向け／年間）</li> <li>・ 学芸員のワンポイント展示解説（7, 9, 11, 1, 3月実施）</li> <li>・ 港と船のスタンプラリー（仮称）（博物館リニューアルオープン日～5月中予定）</li> <li>・ ゲストトーク・シルクスPECIAL（仮称）（一般向け／10月）</li> <li>・ 「海と船と港の記録映画上映会」（仮称）（一般向け／通年）</li> <li>・ Webで日本丸ぬり絵（仮称）（Webコンテンツ）など</li> </ul>
調査・研究・ 収集・出版活動 事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 横浜港を中心とした資料調査・収集・研究・整理・保存</li> <li>・ 収集資料及び調査研究の成果を公開及び展示・教育活動に反映</li> <li>・ 収蔵資料のデータベース化推進</li> <li>・ 柳原良平作品の整理公開及び帆船日本丸附資料の整理公開に向けた計画策定</li> <li>・ 博物館ニュース、企画展に合わせた目録等を出版・発行</li> <li>・ 資料貸出し・レファレンス等実施</li> <li>・ 画像有料貸し出し</li> <li>・ 博物館内収蔵庫の環境整備</li> <li>・ 博物館外収蔵庫の管理運営について、横浜市と協力して実施</li> </ul>

ライブラリー事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜港を中心とした図書資料の調査・収集・整理・保存ならびに公開</li> <li>・図書資料のデータベース化推進</li> <li>・ライブラリー運営・環境整備実施</li> <li>・コピーサービス・レファレンス</li> <li>・博物館内書庫の環境整備実施</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校の体験学習の受入れ</li> <li>・館外での活動や外部団体と連携した事業の実施</li> <li>・周辺区の教育事業や団体・企業の研修への出張講義など</li> </ul>

(3) みなとの賑わい創出事業	
水辺の事業 シーカヤック教室（4月～3月）	<p>【NPO法人横浜シーフレンズと連携した体験教室の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初級者向けコース 「半日スクール&amp;赤レンガミニツアーリング」（86回）</li> <li>「親子体験教室」（16回）</li> </ul> <p>* 大学シーカヤック開催協力（神奈川大、横浜市立大予定）</p>
カヌーポロ教室（4月～10月）	<p>【NPO法人横浜カヌー倶楽部、横浜市カヌー協会と連携したカヌーポロ教室の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供及び大人向け教室（計14回）</li> <li>・令和4年度帆船日本丸カヌーポロ大会（兼関東ポロリーグ神奈川大会）開催（6月予定）</li> </ul>
帆船日本丸のライトアップとイルミネーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライトアップとイルミネーションの実施（毎夜）</li> </ul>
パーク利用事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップやコンサートなど多彩なイベントへの貸出</li> <li>・大規模イベントへアリーナ、多目的ルーム、訓練センター、タワー棟、多目的ルーム及び特別展示室の一体的貸出</li> <li>・新たにキッチンカーなどの営業車単独での利用促進</li> <li>・アリーナや新設の多目的ルームなどでの国際会議のユニークベニューやレセプションを想定した利用を誘致</li> <li>・横浜市のプロモーション事業等との連携</li> </ul>
ミュージアム・ショップ事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設開館日に開店し、思い出となる様々な商品を販売</li> <li>・オンラインショップで商品を販売</li> </ul>

(4) 緑地管理及び研修施設事業	
緑地の維持管理・活用	<p>【安全管理・美化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パーク内の巡回、警備、施設の点検（毎日）</li> <li>・定期的な樹木の剪定、芝生の刈込（適宜）</li> <li>・パーク内一円の清掃作業（毎日）</li> <li>・1号ドックやシーカヤックパーク内水域の清掃（毎日）</li> <li>・プランターやボックス花壇への花の植替え（4回/年程度）</li> <li>・花壇造りなどグリーンボランティアとの協働作業（2回/</li> </ul>



	<p>月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みなとみらい21地区まちかど花壇への協賛</li> <li>・桜木町駅前美化清掃活動への参加（毎月）</li> </ul> <p>【撮影】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・撮影時間や会議室の貸出など利用者ニーズに沿った柔軟な対応</li> <li>・利用促進のため、WebサイトやSNSで情報発信。特に、夜景撮影候補地として芝生広場からのロケーションの良さをPR</li> </ul>
緑地の貸出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用日の6か月前からの予約受付サービスを継続</li> </ul>
研修施設（訓練センター）等の管理運営（貸会議室）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅から近い、リーズナブル、使いやすいなどの強みを活かした利用促進</li> <li>・利用日の6か月前からの予約受付サービス及びWebサイトによる予約受付の継続</li> <li>・プロジェクターなど設備機器類の計画的な更新</li> <li>・新たに開設する多目的ルーム、特別展示室、北回廊の貸出</li> </ul>

## (5) 集客増に向けた重点取組

<p>マーケット別取組（通年） 団体需要創出</p>	<p>【法人マーケット（B2B・B2B2C）への取組】</p> <p>1 教育旅行マーケットへの取組（拡大）</p> <p>(1) 日修協との連携強化による同マーケットへの認知度向上、誘客促進</p> <p>ア 同協会発行の学校・旅行会社・自治体等向け『月刊教育旅行』への修学旅行等教育旅行団体誘致のための掲載内容見直し（リニューアル特集掲載）による誘客促進（毎月）</p> <p>イ 教育旅行マーケット（特に収入増につながる市外）深耕拡大のため、同協会との連携によるキャリア教育プログラム、ワークシートの製作・プロモーションの実施（拡大）</p> <p>ウ YCVB並びに(株)JTB（以下：JTB）教育旅行部門との連携による「横浜SDGs探求学習」への取組（プログラム製作・プロモーションの実施）（新規）</p> <p>2 企業・団体等法人マーケットへの取組（拡大）</p> <p>(1) JTB団体用企画商品「JTBならではの」への参画（上期）⇒下期設定のJTB全国商品「日本の旬東京・横浜」との連動を図り、リニューアル施設の組込みも含めたプログラム、コンテンツ提供並びに団体用の商品化を検討</p> <p>※「JTBならではの」とは、JTBのみで団体用に販売できるコンテンツ・プログラムを展開し、全国のJTB及びJTB提携販売店の法人営業担当者が販売。</p> <p>(2) JTB法人営業部門並びに(株)JTBコミュニケーションデザイン（以下：JCD）との連携による法人向けリニューアル施設利用の新規プログラム開発（当施設及び近隣施設を利用したチームビルディング・モチベーションアッププログラム等）及び販売に向けた旅行会社を含む企業・団体等法人へのアプローチ実施（新規）</p>
--------------------------------	--

	<p>(3) 旅行会社の団体用企画商品へのコンテンツ提供による商品化への積極的な参画</p> <p>(4) 収入拡大のための持続可能な事業構築に向けた企業・団体等との連携・協業への取組（新規） （パーク内緑地利用、水域利用、帆船日本丸・横浜みなと博物館利用、近隣施設連携）</p> <p>3 MICEマーケットへの取組（拡大）</p> <p>(1) アフターコンベンション・ユニークベニューでの施設利用メニュー化及びエクスカーション造成への取組（JCDと連携）（新規）</p> <p>(2) 利用促進に向けた情報発信・営業展開 ア 横浜市関係部局、パシフィコ横浜、YCVBへの情報提供及び販売連携の検討 イ 会議主催者・国際等会議誘致企画運営専門会社・旅行会社・その他MICEエージェント等法人へのアプローチ（新規） ウ Webによる告知強化</p>
<p>個人・グループ 需要創出</p>	<p><b>【個人マーケット（B2C・B2B2C）への取組】</b></p> <p>1 オンライン販売チャンネルへの取組</p> <p>(1) 前年度導入のチケットレス・キャッシュレス入館券（E-ticket）取扱い各社との連携強化による販売拡大</p> <p>(2) ぐるっとパス電子化による販売拡大（販売形態新規） ※過年度までチケットブック販売が電子化</p> <p>2 オフライン（リアル）販売チャンネルへの取組</p> <p>(1) 入館者数拡大のための地域連携への取組 近隣施設・ホテルとの回遊性向上のためのチケットプラン・プログラム造成の検討及び販売トライアルの実施（新規）</p> <p>(2) 旅行会社の個人グループ用募集型企画旅行商品へのコンテンツ提供による商品化への積極的な参画（拡大）（旅行会社の販売チャンネルを利用）</p> <p>3 外国人マーケット（B2B2C）への取組 ※新型コロナウイルス感染症の収束推移状況により、実施時期等検討</p> <p>(1) YCVBとの連携による外国人誘客に向けた情報収集と情報提供</p> <p>(2) QRコードカードを利用した多言語化対応（リニューアルに伴う再構築）</p> <p>(3) 在日外国人向けプロモーション（時期検討）</p> <p>(4) クルーズ船利用客の誘客に向けた取組（時期検討） （一部日本人誘客含む）</p> <p>4 新規マーケット（B2C・B2B2C）への取組（新規） ファミリー、若年層、カップル等対象マーケットを絞込み、季節波動・特性に合わせたプロモーションの実施（JCDと連携）</p> <p>(1) 対象マーケットに合わせたチケットプラン造成及び販売の検討（E-ticket販売を想定）</p>



	<p>(2) フォトスポットの設置などWeb・SNS発信コンテンツの充実化への取組</p> <p>(3) 市外地域（エリア）マーケットへの取組 地域を絞り込んだプロモーションの実施及び関係自治体・組織、旅行会社へのアプローチ</p>
<p>広報宣伝・プロモーションへの取組（通年）</p>	<p>1 メディアへの取組 新聞社、TV・ラジオ局等（無料媒体）への効果的情報発信及び掲載率UPのためのコンテンツ提供</p> <p>2 WebサイトとSNSへの取組 (1) WebサイトとSNSによる情報発信の拡充 (2) 多様なマーケットに合わせた効果的な掲載コンテンツの製作 (3) 他の業種・業態の企業・団体等とのタイアップによる誘客推進 (4) 誘客・販売ツール機能構築による誘客・販売促進 (5) シーカヤック・撮影・緑地利用の事業領域拡大に向けた効果的な掲載コンテンツの製作 (6) 取組強化に向けた体制作りの検討</p> <p>3 ガイドブック・専門誌及び地域誌への取組 「るるぶ」「まっふる」を始めとする旅行雑誌等（無料媒体）への効果的な情報提供の実施</p> <p>4 地域関係機関・近隣施設との連携による広報宣伝・プロモーションの実施</p>

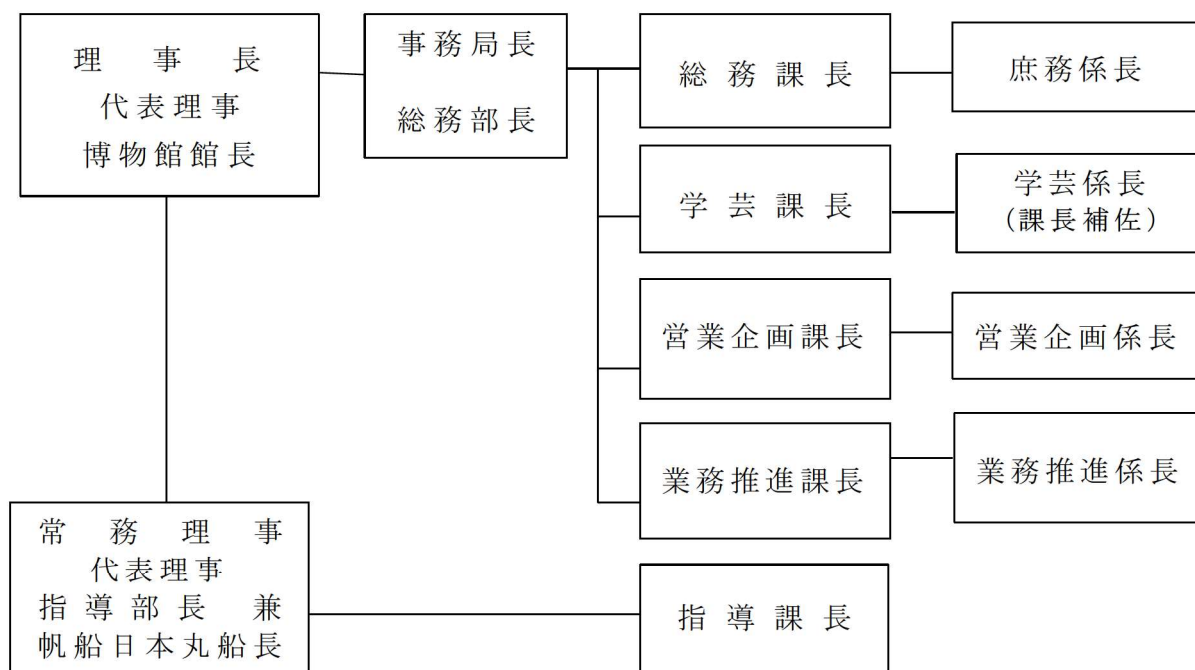
(6) 組織運営の質的向上に向けた取組	
<p>風通しの良い職場づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職業務調整会議及び職員ミーティングを毎週木曜日に開催</li> <li>・安全衛生委員会を3か月毎に開催</li> </ul>
<p>研修の実施及び参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員及び臨時職員向けに研修を実施</li> <li>・防災訓練9月～10月、文化財防火デー訓練1月、みなとみらい21地区合同防災訓練を2月～3月に実施</li> <li>・コンプライアンス、個人情報保護等の全職員研修を2月～3月に実施</li> <li>・横浜市港湾局等が主催する研修会への参加</li> </ul>
<p>コンプライアンスの順守</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修や朝礼等により意識の向上を図るとともに、コンプライアンス委員会を1月頃開催</li> </ul>

## 9 管理執行体制

### (1) 職員配置体制表

指定管理者の業務となる「日本丸メモリアルパーク施設」(以下「施設」という。)の管理運営については、次の職員配置体制で業務を執行します。

#### ア 組織図



#### イ 職員配置

業務内容	所管		分担業務	所属員	備考
総務 管理業務	総務課	庶務係	庶務、経理、人事・労務、給与、理事会等、市調整、売店	3名	アルバイト6名配置 売店運営
横浜みなと 博物館 管理運営 業務	学芸課	学芸係	常設展示・特別展示、教育普及、調査・研究・収集・保存・出版活動事業、ライブラリー事業	3名	アルバイト5名配置 ライブラリー、 操船シミュレーター 運営
営業業務	営業 企画課	営業 企画係	広報宣伝の企画実施、Webによる誘客、集客企画、学校・旅行業者営業、地域連携・イベント等	2名	アルバイト1名配置 営業、イベント 企画、広報
施設管理 業務	業務 推進課	業務 推進係	入場料徴収、Web管理、情報システム維持管理、緑地、施設維持管理、業務委託、訓練センター運営	6名	アルバイト12名配置 受付業務、券売所 シーカヤック教室 訓練センター貸出
帆船日本丸 管理運営業務	指導課	—	保存、公開、青少年錬成、教育普及事業	9名	アルバイト2名配置 業務全般補助、 機関等整備
合 計 (役員・兼務を含まず)				23名	



## (2) 責任体制

指定管理業務については、次の責任体制で効率的な業務執行を図ります。

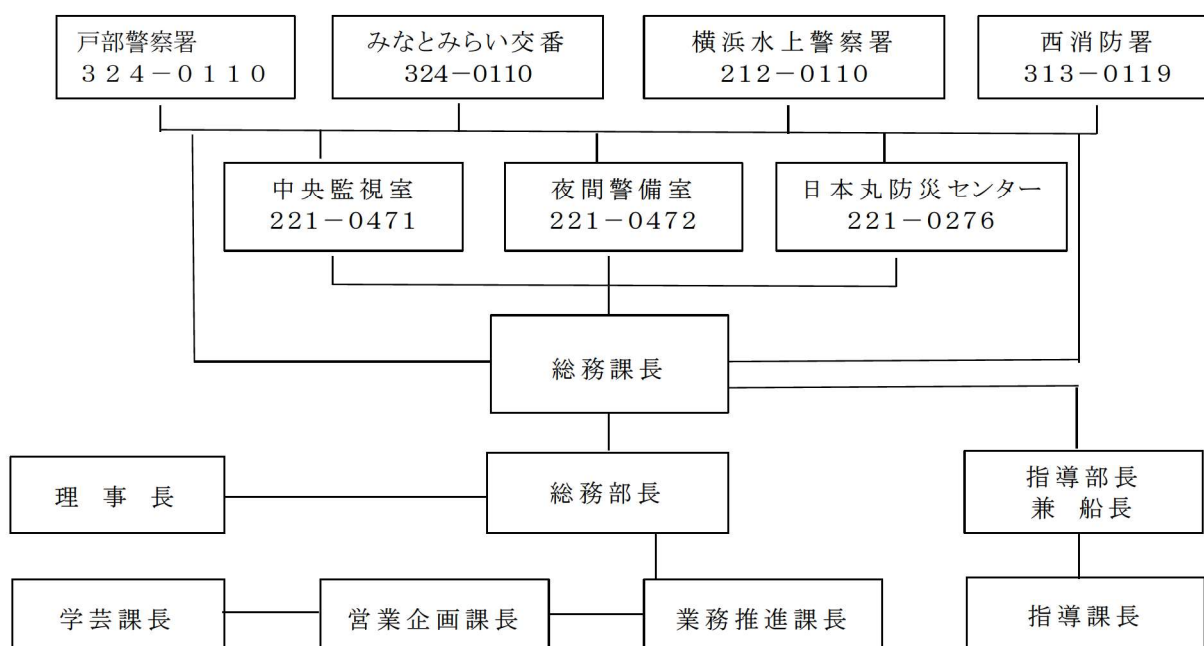
課名	業務責任者	指定管理業務
総務課	総務課長	庶務、経理（契約入札含む）、人事、給与、売店等運営
学芸課	学芸課長	横浜みなと博物館事業 常設展示事業、特別展示事業、教育普及事業、調査・研究・収集・出版活動事業、ライブラリー（資料閲覧室）事業
営業企画課	営業企画課長	広報宣伝集客誘致の企画実施、Webによる誘客、集客企画、学校・旅行業者営業、地域連携・イベント等
業務推進課	業務推進課長	入場料徴収、Web管理、情報システム維持管理、緑地、施設維持管理、業務委託、訓練センター運営
指導課	指導課長	帆船日本丸事業 保存事業、公開事業、青少年錬成事業、教育普及事業

## (3) 防犯・防災対策

施設利用者の安全及び財産保全を第一に、昼夜防犯・防災及び事故防止に努め、不測を実施します。

防犯・防災・事故防止等の対策として、職員による巡視・点検に加え昼夜委託警備体制での施設の巡回や定位置警備を行うことなど利用者の安全を確保します。施設内では火気・施錠等の管理徹底を図り、退所時は「防火等管理簿」の各項目の確認処理を行うなど、確実な取組を進め、日本丸メモリアールパークの良好な管理運営に向けた職員配置を行うなど積極的に取り組んでいきます。

## (4) 緊急連絡体制表



## 10 指定管理業務計画

### (1) 年間事業計画表

管理運営に関する基本協定書に基づき、確実に業務を執行するとともに、管理職務調整会議を定例的に開催し、その内容（決定事項等の詳細）を職員に徹底するとともに、広く情報を公開し、年間目標を達成するため着実に業務を遂行します。

事業名		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 帆船日本丸事業													
保存事業		←											→
公開事業	公開 (月曜日等休館)	←									↔	↔	↔
	総帆展帆(計13回)	2	2	1	2	1	2	2	1	0	0	0	0
	満船飾(計16回)	1	3	1	1	1	3	1	2	0	2	0	1
青少年錬成事業(海洋教室の実施)		←									→		↔
教育普及事業		←									→		↔
2 横浜みなと博物館事業													
常設展示事業		←										→	↔
特別展示事業		←						↔	↔	↔		→	↔
教育普及事業		←											→
調査・研究・収集・出版活動事業		←											→
ライブラリー(資料閲覧室)事業		←											→
3 日本丸メモリアルパーク事業													
緑地等の維持管理・活用		←											→
訓練センター(研修施設)の管理運営		←											→
4 その他													
集客・プロモーション事業		←											→
自主事業		←											→

### (2) 運營業務に関する計画表

施設名	開館時間	休館日
緑地	終日(24時間)	—
帆船日本丸	午前10時～午後5時	月曜日(祝日にあたる時は翌日休館) 12月29日～1月3日 船体整備期間(1月28日～2月27日予定)
横浜みなと博物館	午前10時～午後5時	月曜日(祝日にあたる時は翌日休館) 12月29日～1月3日 燻蒸実施期間(2月14日～2月17日予定)
訓練センター	午前9時～午後10時	12月29日～1月3日



## (3) 管理業務に関する計画表

種 別	箇 所 ・ 業 務 名	内 容	回 数 等
有資格者の配置	帆船日本丸	船長及び一等航海士	通年
	横浜みなと博物館	学芸員、司書、電気主任技術者	
		サービス介助士	
安全管理	日本丸メモリアルパーク (緑地)	警備員による通常警備 (監視業務・巡回警備等)、特別警備 (左記のうち必要な箇所)、交通誘導 (日本丸メモリアルパークの緑地) 防災訓練の実施 職員による巡回点検	通年・随時 防災訓練は、年2回 (9月・1月)
	帆船日本丸		
	横浜みなと博物館		
	訓練センター (研修施設)		
	タワー棟		
	屋外トイレ		
設備維持管理	中央監視設備	有資格業者による管理委託 日常巡視点検 定期点検整備 法定点検整備	電気・機械設備等保守点検月1回及び年1回 消防・特別高圧変電設備等法定検査年1回
	電気設備		
	空気調和設備		
	給排水衛生設備		
	昇降機設備		
	消防関係設備		
帆船日本丸 船体整備・検査		横浜市からの要請による関係官公庁等と連絡対応、検査・整備の実施	年1回
小破修繕	建築物等、帆船日本丸、緑地 電気機械設備等	指定管理施設等の修繕が困難な場合は横浜市と協議	
設備関係の測定及び記録	運転・作業日誌、日常巡視点検記録、定期点検・測定記録、業務連絡簿は3年間保存 事故障害記録、補修・改良工事記録は5年間保存 設備機器・工具計測台帳、設備図書は永年保存		
清掃	日本丸メモリアルパーク全体		
植栽管理	日本丸メモリアルパーク (緑地)		

(4) 提案事業に関する計画表

事業名	内容	実施回数
帆船日本丸 親子展帆	帆船を身近に感じていただくため、親子対象の参加型小規模展帆を実施。	3回
ホリデー教室	リピーター拡大策として、ファミリーを対象にしたペーパークラフト教室及び船の折り紙教室を実施。教育活動ボランティアによる事業の一つ。	50回程度
シーカヤック教室 カヌーポロ教室	水域の利活用による賑わいづくりを目指し、NPO法人や横浜市カヌー協会と連携し教室を開催	随時
ミュージアム ショップ	帆船日本丸、横浜みなと博物館、柳原良平アートミュージアムに関連したお土産や記念品の販売	開館時

(5) 外部委託予定表

原則として次の業務を指名競争入札により委託します。

種別	名称	発注時期
設備運転業務	電灯・動力、受電、自家発電、直流電源、通信・情報、外灯、防犯、配電、消防設備	令和4年4月契約
清掃業務	日本丸メモリアルパーク(緑地・屋外トイレ)、帆船日本丸、横浜みなと博物館、訓練センター、タワー棟	令和4年4月契約
警備業務	日本丸メモリアルパーク(緑地)、帆船日本丸、横浜みなと博物館、訓練センター、タワー棟、屋外トイレ	令和4年4月契約

(6) 要望対応方針・事務フロー

お客様からの要望は、直接的な要望とアンケート調査等による要望があります。

ア 窓口等の直接的な要望

担当者が即時対応し、完了後、所属課長より総務課長及び役員に報告します。

イ アンケート調査等の要望

毎日の施設利用者としての「利用者アンケート」の意見や要望内容を集約し、毎日の朝礼や魅力づくり集客アップ会議で確認し、通常業務へ反映させ、具体的に実施します。

帆船日本丸及び横浜みなと博物館の全体的なアンケート調査を年1回実施し、魅力づくり集客アップ会議、管理職調整会議や職員ミーティングなどで内容を分析し、必要な事項は今後の業務へ反映し具体化します。

また、必要に応じて横浜市の関係機関と協議を行います。



## (7) 研修計画表

研 修 項 目	研 修 内 容	実施回数・時期
マナー研修	窓口・電話応対等接遇	年1回・2月
個人情報保護研修	重要性と管理及び利用方法	年1回・2月
人権啓発研修	人権意識の醸成・事例研究	年1回・2月
防災訓練	情報伝達・避難誘導・消火訓練等	年2回・9月・1月
ボランティア研修	展示関係研修・教育関係研修	年6回・4月・10月・2月
コンプライアンス研修	随時案件処理研修	年1回・3月

## 11 指定管理業務に係る当該年度の収支計画表

## (1) 収入

(単位:千円)

科 目	予 算 額	備 考
指定管理料	288,594	
利用料金収入	109,912	観覧料収入、海洋教室等収入、その他事業収入
自主事業収入	19,950	提案事業収入
売店事業収入	14,000	
その他の収入	6,000	助成・協賛金収入、寄付金収入、基本財産運用収入等
収 入 合 計	439,256	

## (2) 支出

(単位:千円)

科 目	予 算 額	備 考
指定管理施設 運営事業費支出	358,858	帆船日本丸事業費支出、横浜みなと博物館事業費支出、 緑地事業費支出
指定管理者 管理費支出	48,536	指定管理者施設管理費支出
自主事業費支出	9,762	提案事業費支出
売店事業支出	12,755	
支 出 合 計	429,911	

当期収支差額	9,345	
--------	-------	--

## 12 年間の指定管理業務の範囲外の収支計画表

## (1) 収入

(単位:千円)

科 目	予 算 額	備 考
特定資産運用収入	2,000	
雑収入	0	
特定資産取崩収入	0	
収入合計	2,000	

(2) 支出

(単位：千円)

科 目	予算額	備 考
財団管理費支出	5,559	
支出合計	5,559	

当期収支差額	△ 3,559	
--------	---------	--